

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	16			シート作成者		-	-
事務事業名	下水道施設情報システム構築事業(4条予算)			事務区分	自治事務	部課かい名	下水道河川部 下水道河川管理課
事業の目的	中央局と連携のとれていないポンプ場等と連携する下水道施設情報システムを構築し、防災体制の充実を図る。			事業の目標		中央局と連携の取れていないポンプ場等の情報を集約し、迅速な運転監視を行う。	
事業の概要	・中央局と連携のとれていないポンプ場等の下水道施設情報システム構築を図る。 ・雨水吐室フラップゲートに水位計及びITVを設置する。 ・雨水放流ゲートの遠隔操作装置を設置する。						
対象	市民			事業の性質区分		政策	業務計画
指標	事業の進捗状況(第2次実施計画) 事業の執行(第3次実施計画)						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
流量計改修1箇所 ゲート2箇所制御システム	流量計改修14箇所 ゲート1箇所制御システム 監視カメラ改修13箇所	委託の発注 及び進行管理		委託の発注 及び進行管理		委託の発注 及び進行管理	
		27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください	
事業費	実施計画事業費	-	14,689,000	15,000,000	15,000,000		
	予算額	37,975,000	14,688,000				
	決算額	29,948,971					
	執行率	78.9%					
	従事者数	0.36	0.47				
財源内訳	職員	0.36	0.47				
	臨時・非常勤等						
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	37,975,000	14,688,000				
	一般財源						

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性		<p>本市において、ポンプ場等下水道施設は、浸水対策を効果的に推進し、安全・安心なまちづくりのために欠かすことができないものである。</p> <p>現在、20箇所のポンプ場等に監視カメラを設置しているが、録画機能が無いカメラも複数箇所あり、昨今のゲリラ豪雨等に対応するために、迅速な情報収集及びデータの記録が必要となっている。また、下水道施設とのデータ通信費については、より通信費の縮減を図るためクラウド化を進め、あわせてインターネット経由で庁外から監視可能にできる下水道施設情報システム構築の必要性は高い。</p>
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)		<p>事業成果</p> <p>平成27年度は、11台の監視カメラについて、録画可能な機材に更新した。加えて、新規に今宿ポンプ場に2基、浜竹放流渠(2号水路)に1基、カメラを新設した。</p> <p>また、庁外からインターネット経由で監視できるよう22箇所の下水道施設のシステムのクラウド化を実施することで、通信費の縮減が図れた。</p> <p>事務効率</p> <p>監視カメラに係る業務(2本)とクラウド化に係る業務(2本)に分割発注した結果、複数の委託業務管理となったため、事務効率が若干低いと感じられた。</p>
事業成果及び事務効率に対する評価		<p>実施手法は効率的かつ効果的であり、成果があがった</p>

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	<p>28年度は、前年度の事業実施状況の分析により、さらに事業の効率を向上させるため、システム構築に係る委託業務の一括発注を実施し、カメラ交換及びクラウド化等を進める。</p> <p>カメラ交換については6台実施し、下水道施設を録画可能な状態にすることで、降雨時の確認及び検証が容易にできるようになる。</p> <p>また、監視システムをクラウド化し、引き続き、通信費の縮減を図る。加えて、庁外からインターネット経由で監視できるようにし、下水道施設の現地確認のための人工の縮減を目指す。</p>

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]

【平成28年度 第1回提出】業務棚卸評価シート

1 事業の概要と実績

No.	18			シート作成者	-	-	
事務事業名	柳島ポンプ場改築事業			事務区分	自治事務	部課かい名	下水道河川部 下水道河川管理課
事業の目的	耐用年数の延伸をはかるように施設の改築を行う。			事業の目標	ポンプ施設を適正に維持管理し、降雨時及び災害時における信頼性の確保。		
事業の概要	耐用年数の延伸をはかるように施設の耐震化を行い、設備の改築更新を行う。						
対象	市民(松尾、柳島、柳島海岸、浜見平、南湖)			事業の性質区分	政策	業務計画	■
指標	事業の進捗状況						
27年度(第2次実施計画)		28年度(第3次実施計画)		29年度(第3次実施計画)		30年度(第3次実施計画)	
目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
実施設計	実施設計中 (繰越7月15日に完了)	機械設備No.3製作 40% 電気設備更新 100% ポンプ棟部耐震工事 100%		機械設備No.3設置 及び既設撤去 60% 機械設備No.2製作 40%		機械設備No.2設置 及び既設撤去 60% 機械設備No.1製作 40%	
事業費	27年度	28年度	29年度	30年度	※金額については1円単位で記入してください		
	実施計画事業費	-	293,339,000	422,950,000			
	予算額	80,568,800	293,338,000				
	決算額	345,600					
	執行率	0.4%					
	従事者数	0.43	0.82				
	職員	0.43	0.82				
財源内訳	臨時・非常勤等						
	国庫支出金		123,643,400				
	県支出金						
	地方債		156,119,000				
	その他	345,600	13,575,600				
	一般財源						

2 事業実施状況に対する評価

事業の必要性	
<p>本事業は、本市の松尾川排水区における雨水排除を目的として、一級河川相模川へ強制排水する柳島ポンプ場(1系)の耐震化を行い、機械・電気設備の更新をするものである。柳島ポンプ場は市内南西部の雨水排水の大部分を担っているが、自然流下で雨水を排除することが出来ない地形であることから、都市機能の確保において特に重要な施設となっている。このような状況の中、昭和49年に供用を開始してから41年が経過し、劣化進行が著しい状況であることからポンプ設備の更新が急務となっている。</p>	
事業実施状況に対する分析(課題の抽出)	
事業成果	平成27年度においては、「柳島ポンプ場長寿命化計画詳細設計委託」、「柳島ポンプ場耐震補強工事(流入渠)」の委託、工事を各1本発注し、これに伴う「柳島ポンプ場高額資材調査委託」を実施している。長寿命化詳細設計委託においては、調査過程においてポンプ棟建屋からの漏水が確認され、この漏水箇所の特定調査及び補修方法の決定に時間を要している。また、耐震補強工事においては建設当時の竣工図書と現地の相違が大きく、現地での再調査に時間を要していることから、概ね成果はあげられているものの完成には至らず、共に繰越を余儀なくされている。また調査、立会といった作業では現地で費やす時間が多いため、効率的な現地作業の仕組みを確立することが課題である。
事務効率	委託、工事を契約してからの、再調査及び立会業務においては現地での作業が多岐にわたり、この作業に多くの時間を費やしていることが、事務作業の効率低下を招いているものと考えられる。
事業成果及び事務効率に対する評価	
成果があがっているが、実施手法は効率的でない	

3 今後の事業展開(事務改善)

今後の事業展開(事務改善)	
改善の方向性	27年度の評価を踏まえた28年度以降の取組内容
事業(活動)の効率を上げる	平成28年度においては「柳島ポンプ場機械設備更新工事(1系3号機)」「柳島ポンプ場電気設備更新工事」「柳島ポンプ場耐震補強工事(ポンプ棟、流出渠)」といった3件の工事実施を予定しているが、機械、建築、電気といった土木以外の業種の占める割合が大きいため、耐震補強工事においては設計積算委託、現場監理委託を発注する。機械設備更新工事においては現場監理委託を発注し、各業種において専門知識を有する者へ設計積算及び現場監理委託作業を委託することにより、事務作業の効率化を図り、目標達成を目指す。

4 事業を構成する活動に係る改善内容

[illegible][illegible][illegible][illegible]